

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員 指導課 特別指導員
岩波 英一

夏休みドキドキワクワク体験

日立・三菱理科教室

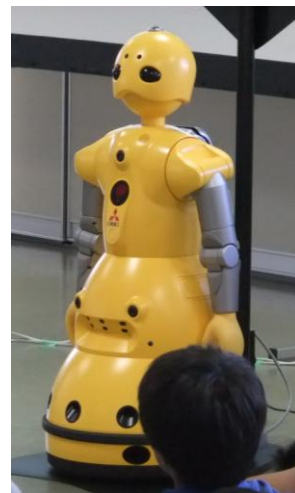
8月27日(火)、教育プラザを会場に「日立・三菱理科教室」が開催され、市内の小学生が多数参加しました。子どもたちや保護者を含めると100人を越えています。主催は、日立理科クラブと三菱重工業株式会社・広島製作所です。理科教室の前半は、三菱が担当し、人とコミュニケーションするロボット「ワカマル」が2台登場しました。このロボットは、受け答えができる賢いロボットで、担当の方から、その仕組みやテクノロジーについて興味あるお話を聞くことができました。このロボットの特徴は、

- ① 声を聞き、理解し、答える。
- ② 体を動かし、触れられたことが分かる。
- ③ 人の顔が分かり、顔を見つけ、そちらを見る。

ことができることです。ラジオ体操をしたり、握手をしたり、一緒に手をつないで散歩までしたりしていました。子どもたちは、ロボットに興味があり、たくさんの質問を担当の方にしたり、一人ひとりが、ワカマルとの会話を楽しんでいました。

コミュニケーションするロボットや、人間の指示に従って活動できるロボットが、家庭で活用される日が来るのもそう遠くないのではないのでしょうか。後半は、日立理科クラブが担当し、クリップモーターやコップスピーカーを作成しながら、電気のことを学びました。

この合同理科教室は、今年の夏、第1回を広島市で開催し、今回は日立市で2回目の開催となります。マスコミ報道によりますと、日立製作所と三菱重工業が、火力発電事業部門で事業統合することが報じられています。いち早く、子どもたちへの科学教育活動の普及ということで、合同で開催を進めることになったのではないかと思います。これから、日立と三菱が、お互いの技術力の相乗効果を発揮し、世界市場を視野に大きく羽ばたいていくのではないのでしょうか。未来を担う子どもたちが、日立・三菱理科教室を通して、ロボット開発や科学教育分野で大きく成長していくことを期待したいですね。



子どもたちへの科学教育活動の普及ということで、合同で開催を進めることになったのではないかと
思います。これから、日立と三菱が、お互いの技術力の相乗効果を発揮し、世界市場を視野に大きく羽ばたいていく
のではないのでしょうか。未来を担う子どもたちが、日立・三菱理科教室を通して、ロボット開発や科学教育分野で大きく成長していくことを期待したいですね。

— 問い合わせ先 —

TEL 0294(34)1126 FAX 0294(34)5777

内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一